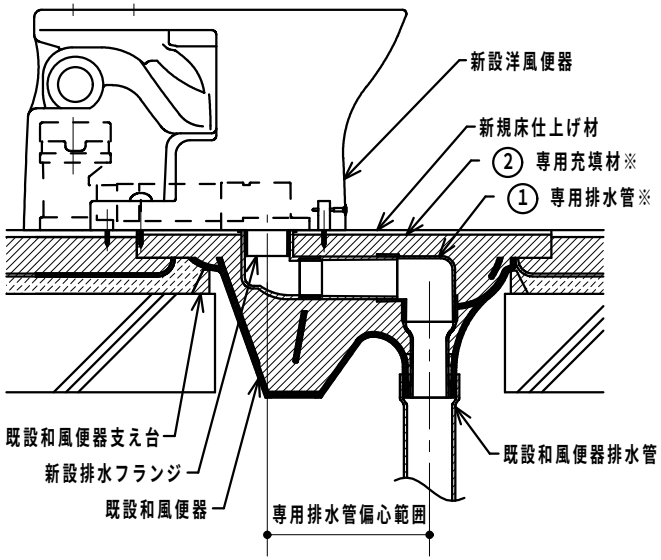
ＴＯＴＯ　和洋リモデル工法　概要図

作成日：２０２０．０３．０４

・和洋リモデル工法の基本設計検討の図面作成用として作成したものです。
・現場の状況や現場調査の結果により、実現場の状況は本資料と異なる場合があります。
　・本資料で示している、既設の和風便器設置状況・給水立上げ状況、トイレブースの状況
　　および新設洋風便器の設置状況などは、個々の現場の状況を示すものではありません。



施工後の断面状況例
（洋風便器ＣＦＳ４９４Ｍ、排水フランジＨＰ４３０－７の場合）
※：和洋リモデル工法の認定を受けた会社で施工する部材。

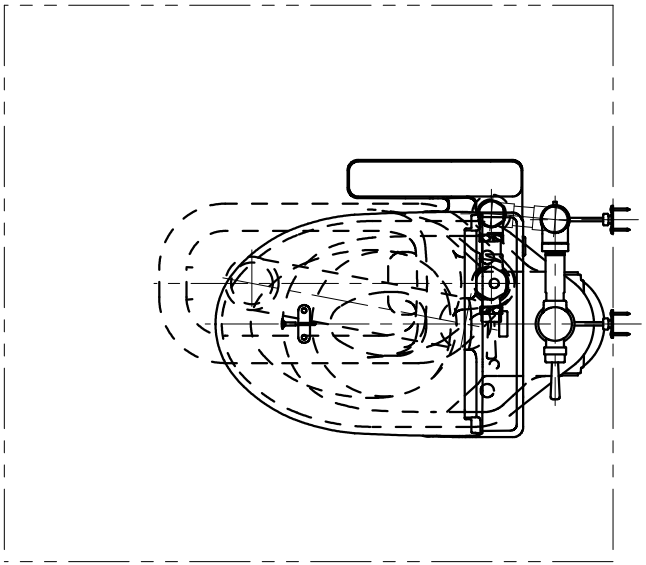
和洋リモデル工法専用部材一覧

①専用排水管	排水パッケージ１	排水心偏心量（可変）１５０～５００mm
	排水パッケージ３	排水心偏心量（固定）１００mm
	排水パッケージ４	排水心偏心量（固定）４５mm
	排水パッケージ５	排水心偏心量（固定）０mm
② 専用充填材　（専用モルタル）		
モルタル流れ止めシート材		
専用シール材		
専用パッキン材		

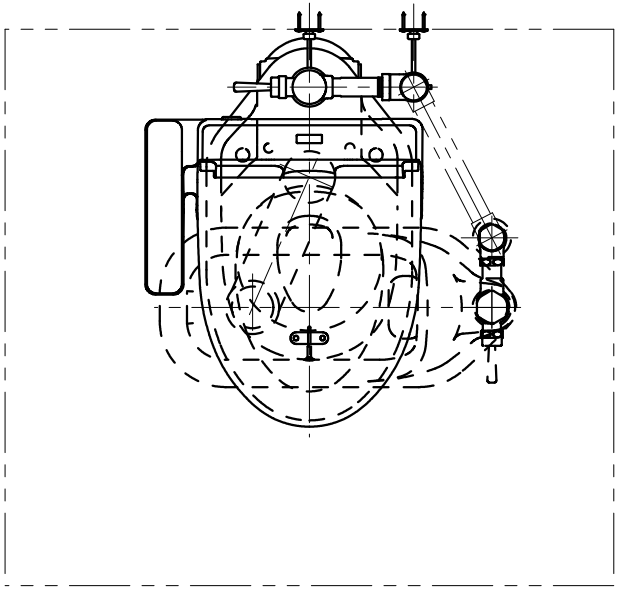
※専用排水管は１ブースに付き１本使用します。
　現場状況により使用しない部材があります。
※和洋リモデル工法の専用部材の販売は対応できません。
　認定施工店の施工対応となりますので、ご注意ください。

和洋リモデル工法の採用にあたってのご注意

・和洋リモデル工法は、性能や品質を確保するために専用部材を使用し、所定の方法にて施工を行う工法です。
　施工はＴＯＴＯが認定した会社（和洋リモデル工法　認定施工店）にご依頼ください。
・和洋リモデル工法における標準工事
　・工事期間が２日間であること
　・１フロア工事が可能であること
　・現場調査および施工は認定施工店にて実施すること
・新設洋風便器はＴＯＴＯ品としてください。ＶＰ７５・ＶＵ７５に対応する床排水便器が設置可能です。
　ただし、フラッシュバルブ式洋風便器（ＣＳ４６４Ｍ系・ＣＳ４６５系）においては、
　低圧形フラッシュバルブ（ＴＶ１８０系）との組合せは設置出来ません。
・洋風便器の種類によっては、洗浄水量を便器標準洗浄水量よりも増やす必要があります。
・改修後のトイレ清掃は乾式清掃としてください。
・建築構造がＲＣ構造・ＳＲＣ構造の場合に対応可能です。Ｓ構造の場合は新設洋風便器の排水位置に制約があります。
・両用便器など既設和風便器の種類によっては、和洋リモデル工法では対応できない場合があります。
・既設和風便器の外に新設洋風便器の排水を立上げる場合は、床厚みが１８０mm以上で、既設和風便器が支え台で
　確実に支えられていることが必要となります。
・上記のほか、現場調査の結果によっては、和洋リモデル工法での対応ができない場合があります。
　この場合は、従来工法での対応となります。
・給水管切り換え・床仕上げ・新規洋風便器設置は在来工事での対応となり、和洋リモデル工法の範囲外となりますので、
　認定施工店以外でも施工可能です。
・新設洋風便器のレイアウトに際しては、別紙制約にご注意ください。



洋風便器のレイアウト例－１（和風便器と平行設置の場合）
（洋風便器ＣＦＳ４９４Ｍ＋ウォシュレットＰの場合　Ｓ＝１／１０）



洋風便器のレイアウト例－２（和風便器と直角設置の場合）
（洋風便器ＣＦＳ４９４Ｍ＋ウォシュレットＰの場合　Ｓ＝１／１０）